

<p>【イベント名】                  第2回 NTU-Kyushu Colloquium パラレルセッション 遠隔医療技術</p>	<p>【概要】                  今回の遠隔医療技術セッションは、コロナ禍における遠隔医療の活用に焦点を当てた。資源や設備が不足している中で、医学生や医療者の学習、診療を継続して実行するために用いたシステムや機器の紹介、活動報告、生じた問題やその解決策など、それぞれの参加者が自身の経験を共有しました。非常に実りある有意義な議論ができた。</p>
<p>【期日】 2020.06.15</p>	
<p>【会場】                  国立台湾大学 (台湾), 九州大学病院 (日本), アジア消化器センター (インド), マラヤ大学 (マレーシア), ブラウイジャヤ大学 (インドネシア), 国家実験研究院 (台湾), NASATI オフィス (ベトナム), ネパール教育研究ネットワーク (ネパール), カトマンズモデル病院 (ネパール), バングラデシュ研究教育ネットワーク (バングラデシュ), フィリピン先端科学技術機構 (フィリピン), パタン健康科学専門学校 (ネパール)</p>	
	
<p>モニターに表示される接続施設。</p>	<p>アジア消化器センターの様子。</p>
<p>撮影場所：アジア消化器センター</p>	<p>撮影場所：アジア消化器センター</p>
	
<p>提示されたスライド。</p>	<p>提示されたスライド。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：ネパール教育研究ネットワーク</p>
	
<p>提示された写真。</p>	<p>アジア消化器センターの様子。</p>
<p>撮影場所：ネパール教育研究ネットワーク</p>	<p>撮影場所：アジア消化器センター</p>